



## ～戮力協心～ NO.7

2023年10月23日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

# 2023年度年末手当 第1回交渉～収入動向～

中央本部は10月23日に「2023年度年末手当第1回交渉」を行ないました。

## 収入動向

- ・上半期のコンテナ収入は、災害運休やBCPに伴う他モードシフトが継続。農産品・青果物が、前年作柄不良だったため反動増となったが、今夏の猛暑により北海道玉ねぎ、野菜類を中心に収量減。化学薬品・化学工業品、食料工業品は物価高・製品値上げによる販売不振により減収。車扱では、行動制限緩和に伴う移動需要の増加。その結果、コンテナ・車扱全体で、対計画△36億5600万円(93.9%)、対前年△7億8000万円(98.6%)となった。
- ・自動車補修部品を「JR貨物で」という動きが出ている。2024年問題の動きが出てきており、問題について訴え、新規案件獲得にむけて動いている。
- ・事業開発部門は、10月期改定で7億8000万円計画より上積みされた300億8000万円だが、手堅い数字であり、クリアしていく。

## 組合の主張

- ・厳しい経営状況というのは分かった。しかし、経営計画を立てたのは経営陣であり、責任は経営陣にあって、計画未達を理由とした、組合員への責任転嫁(手当削減)は断じて許されない。
- ・組合員は収入拡大にむけて既に尽力している。収入は悪いかもしれないが、慢性的な要員不足の中、輸送量は増えており、職場の仕事量は増え、組合員は苦勞している！

会社は厳しい経営状況を前面に出し、手当を低くしようとしています！  
職場での労苦を会社にぶつけ満額獲得にむけて全青年部員で闘おう！！